

新型コロナウイルス感染症への対応指針・ガイドライン

フリースクール For Life および高校ステーション（運営主体：特定非営利活動法人ふぉーらいふ）では、通学する子どもさんと職員ならびに関係者の安全を確保するため、下記の通り新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止につとめ、対策を講じるとともに、必要に応じた対応をおこないます。下記に記載の“スクールの関係者”とは、当スクール所属の子どもさんと、そのご家族、職員やボランティアを表します。

1. 日常の学習および活動における対策

- スクールへ登校する前に、ご自宅で子どもさんの検温を実施し、37.5℃以上の発熱、もしくは倦怠感、そのほか体の不調が認められた場合、無理に登校せず、自宅で待機し、スクールへお知らせください。
- ご家族に、同様の不調が認められる場合も、同様の対応をお願いします。
- スクール登校時は、玄関で手指と足裏を消毒します。
- 消毒後に検温を行い、37.5℃以上の発熱がある場合は、帰宅していただきます。
- 施設内は毎朝毎夕消毒し、常時換気を行います。
- 学習および活動中は、マスクを着用し、可能な限り人とひとの間をあけます。
- 各部屋の大きさにあわせ、密状態にならない、適切な人数となるようにします。
- 感染症対策を優先し、学習および活動を中止する場合があります。
- 食事の前に手指の消毒と、うがいを励行します。
- 食時中は、会話を控え、アクリル板などを配置、または距離を確保します。
- スポーツなどの活動で、熱中症対策のため、マスクの着用が難しい場合は、文科省の“学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル”に準拠します。

2. スクールの関係者に陽性者が出た場合（濃厚接触者となった場合含む）

- 受診・検査などで、スクールの関係者が、新型コロナウイルス感染症の陽性者と認められた場合は、発症した日、ご本人ならびにご家族の状態、医療機関や保健所から受けた指示などを、スクールへ速やかにご連絡いただきます。
- 子どもさんが陽性者または濃厚接触者となった場合は、医療機関または保健所へ、当フリースクールに所属していること、直近でスクールに通学した日時をお伝えください。
- 保健所には、当フリースクールの代表連絡先（電話番号 078-706-6186）を伝えてください。
- 濃厚接触者は、接触後14日間、不要不急の外出は控え、保健所などの健康観察の指示に従っていただき、状況に変化がありましたら、フリースクールへご連絡ください。
- 上記は、職員ならびに関係者についても同様の対応をとることとします。

3. スクールの休校措置

○スクールの関係者が陽性者になり、かつ保健所から指導を受け、施設内の消毒などが実施される場合、当スクールは3日間の休校措置をとります。

○スクールの関係者が、2名以上名陽性者になり、かつ保健所からの指導を受ける場合、当スクールは、保健所の指示する期間、もしくは14日間の休校措置をとります。

4. 各家庭へのお知らせと配慮のお願い

○保健所が、陽性者、または濃厚接触者本人の登校（勤務）日と、発症日との関係から、その他スクールの関係者が濃厚接触者に該当しないと判断した場合、当スクールから、各家庭に対して陽性者の情報をお知らせすることはありません。

○スクールの関係者が、陽性者になり、保健所から指示を受ける場合は、陽性者（子どもさんの場合は保護者）の了承を得て、当スクールから所属する子どもさんと、そのご家族へ陽性者が出た事実をお伝えます。

○昨今、新型コロナウイルス感染症陽性者（感染者）、濃厚接触者、ご家族に対する偏見や差別につながるような行為が問題となっています。当スクールから、陽性者が出た事実をみなさんに伝える際は、個人が特定されないよう最大限努めますので、各家庭でも、子ども同士のLINE（そのほかSNSなど）のやりとりを含め、相互に陽性者を特定したり、第三者へ陽性者の情報を発信したりする行為は、厳禁とさせていただきます。

○みなさまには、誰もが感染者、濃厚接触者になりうる状況であることを受け止めていただくとともに、正確な情報を入手し、行動いただきますよう、ご理解・ご協力をお願いいたします。

5. そのほかご理解いただきたい事項

○保健所の指示がない場合でも検査を実施する場合があります。

○当スクールでは、保健所の指導の有無に関わらず、スクールの関係者に陽性者もしくは濃厚接触者が出た場合、運営責任者の理事・監事・トータルアドバイザーと、個人を特定する情報を除き、情報を共有いたします。

以上

2020年5月作成

2021年4月改訂

フリースクール For Life・高校ステーション

運営主体：特定非営利活動法人 ふおーらいふ

理事長 中林 和子